

授業科目名	エリアマネジメント論	担当教員	大社 充 高橋 伸桂 坂本 ひとみ
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2年第1クォーター		
講義内容	<p>一般に、エリアマネジメント（AM）は、「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み」と定義されている。AM活動は、地域の活性化や居住環境の向上などを目的として展開されている。AMの課題としては、活動のための財源の確保、組織化の課題、そして活動を維持・拡大するための専門の人材の確保の3つが挙げられている。本講義では、主としてAMの様々な事例をベースにして、受講生が地域の特性に応じた最適なAM活動を理解し、組織の一員としての確に活動できるようにする。</p>		
到達目標	<p>講義内容で説明したAMの課題の理論的内容と各地で行われている様々な事例を取り上げ、本質的な性格を理論的に把握し、それをベースにしてAMの具体的プロセスを理解し、組織の一員として課題を解決するための方策を立案できることを到達目標としている。大社がAMに係る概念と理論を用いた講義を展開したのち、坂本、高橋がAMに関連する各地域での詳細な試みや具体的にかかわった事例を中心に取り上げる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 公共の概念と官民連携（PPP）の理論と仕組み そもそも何を成果とする誰のためのマネジメントなのか（大社） 2 公共政策と経営学の二つの視座からエリアマネジメント（地域経営）を考える NPMは機能したのか？そしてEBPMは人々を幸せにするのか？（大社） 3 観光とエリマネ「タンザニア・ワイルドライフ・マネジメントエリアから学ぶ」観光地域づくりにおけるデスティネーションマネジメントとエリアマネジメント（大社） 4 地域マネジメントの実践的手法としての「協力のテクノロジー」 なぜエリアマネジメントの手法に関する学術論文がないのか？（大社） 5 和歌山県湯浅町（湯浅観光協会）の事例（坂本） 6 富山県高岡市（コンテンツツーリズム）の事例（坂本） 7 岐阜県白川村（観光とまちづくり）の事例（坂本） 8 高知県香南市（まちづくり）の事例（坂本） 9 豊岡市竹野町（たけの観光協会）の事例（高橋） 10 荒尾市スマートシティの事例（高橋） 11 養父市ニューツーリズム事業（アドベンチャー&教育）の事例（高橋） 12 豊岡市ヘルス&スポーツツーリズム事業の事例（高橋） 		
事前・事後学習	<p>ケースを事前に配布する場合がある。その場合は、ケースの課題に従ってケースを分析してくる。授業中にケースについてのディスカッションをするので、自分の発言用の分析結果のメモを作成すること。授業後には、講義内容を踏まえてケースについての分析レポートを提出すること。</p>		
テキスト	なし		
参考文献	授業中に適宜紹介する		
成績評価の基準	ケース分析レポート（40%）、授業中の発言（20%）、期末レポート（40%）		

履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	